



化学

企画振興部 総合政策課
課長 高橋 佐紀子

◎ 経歴（採用34年目）

2023年度～ 企画振興部 総合政策課 課長
2022年度～ 生活環境部 県民生活課 課長
2021年度～ 生活環境部 温暖化対策課 課長
2019年度～ 企画振興部 総合政策課 政策監
2014年度～ 生活環境部 環境管理課 副主幹(兼)班長（2017年度～ 主幹(兼)班長）
2010年度～ 秋田地域振興局福祉環境部 環境指導課 副主幹
2009年度～ 生活環境文化部 環境エネルギー推進課 副主幹
2005年度～ 生活環境文化部 環境あきた創造課 主査
2001年度～ 生活環境文化部 生活衛生課 主任（2004年度～ 主査）
1997年度～ 生活環境部 環境保全課 技師（2000年度～ 環境政策課 主任）
1995年度～ 衛生科学研究所 技師
1992年度～ 環境技術センター 技師
1990年度～ 入庁・大曲保健所 技師(化学職)

Q 現在どんな仕事を担当していますか？

県政運営の指針である「新秋田元気創造プラン」を所管しており、重要施策の総合的な調整や評価を行うとともに、プランに基づく施策を積極的に推進するため、国に対する要望などを行っております。

Q 職場の環境づくりで心がけていることは？

相談には、なるべくすぐに応じるようにしているほか、機会を捉えて各職員へ声かけするようにしています。また、課全体に重苦しい空気が漂わないよう、明るい職場づくりを心がけております。業務の進め方や資料作成については、過度に負担がかからないように配慮するようにしています。

Q 仕事を続けてこられた理由は？

3人の子育ての中で、支援制度等が整っていることは、続けてこられた大きな理由の1つです。また、様々な面で上司や同僚の理解と協力があつたことも大きかったです。同居している義母や、近くに住んでいる両親の手助けがあつたことも、仕事を続けられた一要因だと思います。業務においては、女性ということで配慮していただいた点もたくさんありましたが、男女関係なく、1人の職員として評価いただく場面も多くあつたことは、仕事を続ける糧になりました。

Q これまで特に印象に残っている経験は？

平成17年に配属された「環境あきた創造課」では、環境問題に関する県民の理解を深め、行動を促すための普及啓発活動に取り組むこととなり、県民の生の声を聞く機会が増え、難しさを感じながらも、やりがいがありました。世界的に温暖化対策が再注目された時期でもあつたことから、県内外で活動している民間の方々との交流も多く、刺激や影響を受けるなど、貴重な経験をさせていただいたと思っています。また、技術職としての業務を長く経験してきましたが、令和元年に配属された「総合政策課」では、広く県庁全体の業務に関わることとなり、これまでにない新たな視点が持てるようになりました。

＼ 県職員を目指している方へメッセージ！ ／

県庁は、業務が広範で、スケールも程よく大きく、それぞれの興味や強み、専門的な知識を生かせる職場があります。男女関係なく、それぞれの力を発揮でき、また各種制度が充実していることから、各自のライフプランに合わせた働き方ができる職場でもあります。美しい自然や豊富な食、文化のある県内各地域での業務を経験でき、秋田県の真の豊かさを実感できるのも、秋田県職員の魅力の1つだと思います。ぜひ一緒に、「県民誰もが豊かさを実感できる秋田」を創っていきましょう。